

学習指導略案

1 題材名 「そのいじり、大丈夫？」

2 ねらい NHK 教材を利用し、「いじり」の必要性や、相手の表面上の対応と、見えない心境に違いがあることを認識し、相手を大切にする姿勢を育むとともに、人との関わり方を学習する。

3 準備物 タブレット（NHK for School「その“いじり”大丈夫？」）

4 本時の展開

時間	学習内容（予想される生徒の反応）	指導上の留意点
導入 (5分)	①「いじりは必要か？」について考え、意見交流する。 ・必要→場の空気（雰囲気）が良くなる コミュニケーションの一部 ・不要→相手を傷つけている いじめにつながる ② 本時のめあてを確認する めあて：いじりは必要なのか考えよう。	・心の中では必要だと思っていない生徒がいる。 ・場の空気（雰囲気）から、嫌だと言えない。 ・顔、体、家族のことなど、言われて嫌ないじりもある。 ・「いじり」が「いじめ」につながることを認識させ、いじめの定義を確認する。
展開 (35分)	③（発問1）「いじりってどんなもの？」 →人を使って笑いをとること ④（発問2）「どうして、誰かをいじるのか？」 →楽しい、場の空気がよくなる、コミュニケーション ⑤（発問3）「許されないじりって何だろう？」 →顔・体型・名前に関すること 家族のこと ⑥ 映像資料を見る。（10分）	・生徒の意見を交流させながら、いじったり、いじられたりしたときの心境を考えさせる。 ・「いじり」を根底から否定するのではなく、相手のことを考え、尊重することの必要性に気づかせる。 ・全員が話し合いに参加できるようにさせる。 ・自分や周りのことを考えながら、「どのようなじりは許されないのか」を考えさせる。
まとめ (10分)	⑦「いじり→いじめにならないためにはどうすればいいのか？」について考える。 ・自分がいじられている、いじっていることをふまえて、いじめに繋がらないようにするために、どうすればよいのか考える。 ⑧ 今日のふりかえりを書く	・「いじり」が気づかないうちに『いじめ』に発展するケースが多く、生徒にその実態に気づかせるとともに、これからどのようにすることで『いじめ』をなくしていけるのかを考えさせる。 ・「いじり」が必要だという生徒の主張も受け入れつつ、それでも全てが許されるわけではないことに気づかせる。